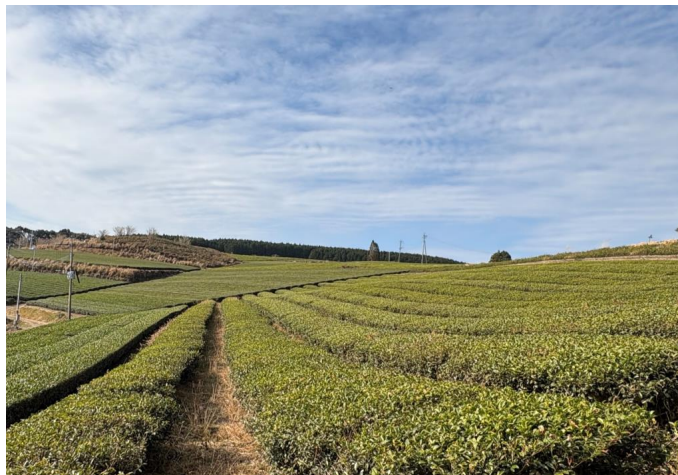


熊本県主催

令和8年度(2026年度)第38回

くまもと景観賞 募集



第37回 くまもと景観賞

実生在来種が残る石飛集落の和紅茶畑



第37回 くまもと景観賞

白川の大甲橋～明午橋(通称:緑の区間)



第37回 部門賞 地域景観賞

熊本桜町ビル



第37回 部門賞 緑と水の景観賞

阿蘇高森サクラミチ

募集期間：令和8年6月22日(月)～8月24日(月)

募集要項など詳しくは県のホームページをご覧ください。

くまもと景観賞

検索



問い合わせ先:

熊本県土木部道路都市局

都市計画課 景観管理班

TEL 096-333-2522

MAIL toshikeikaku@pref.kumamoto.lg.jp

【主催】熊本県

【後援】(公社)熊本県建築士会、(一社)熊本県建設業協会、(一社)熊本県建築士事務所協会、(公社)熊本県緑化推進委員会、(一社)熊本県造園建設業協会、熊本県樹芸農業協同組合、熊本県花き園芸農業協同組合、熊本県広告美術協同組合、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、テレビ熊本、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、エフエム熊本、くまもと緑・景観協働機構

第38回くまもと景観賞

景観は「目にうつる環境」とも言われています。緑にあふれ、地域の文化や伝統を感じさせる美しい街並み景観や田園景観は訪れる人の共感を誘うとともに、そこに住む人にも我が町・ふるさとへの愛着をますます高めます。

“くまもと景観賞”は、私たちの郷土「熊本」が緑と潤いに満ちた美しい県土となるよう、良好な景観形成に大きく貢献している人々の功績を広く顕彰することを目的としています。

募集要項

1 表彰の対象

熊本県内において、次に掲げる景観形成に係る取組みで、地域の良好な景観形成に大きく貢献している個人若しくは団体を表彰します。

- ① 地域の歴史、生活文化、自然などを活用した景観
- ② 地域住民、企業、行政それぞれの参加と協力で創出された景観
- ③ 地域に潤いと安らぎを与える景観
- ④ 地域に新たな魅力をもたらす景観
- ⑤ その他優れた景観形成に寄与しているもの

※ 構造物を含める応募の場合は、原則として「竣工済み」のものに限ります。

※ 過去にこの表彰に応募したものの応募も受け付けます。(ただし、受賞者は除く)

※ 応募内容が関係法令等に違反しているもの、その他表彰にふさわしくない事項等と認められるものについては、選考対象外とします。また、表彰決定後に表彰にふさわしくない事項等があったことが判明したときは、当該決定を取り消す場合があります。

2 応募資格

自薦、他薦は問いません。(他薦の場合、被推薦者の承認を得たうえで応募してください。)

3 応募方法

別添「応募用紙」に必要事項を記入し、画像データを添えて、熊本県土木部都市計画課まで提出してください。

※ 応募用紙は、熊本県ホームページからダウンロードしてください。

※ 電子申請システム(LoGoフォーム)での応募も可能です。

※ 応募いただいた書類の返却は行いませんので、あらかじめご了承ください。

くまもと景観賞

検索



<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/103/269701.html>

<提出先・問い合わせ先>

熊本県土木部道路都市局 都市計画課景観管理班

〒862-8570 熊本市中央区水前寺六丁目 18-1

TEL:096-333-2522

4 募集期間

令和8年(2026年)6月22日(月)~8月24日(月)

5 選考方法

くまもと景観賞審査委員会を設け審査します。

一次審査 書類審査

二次審査 現地審査

■審査委員長

星野 裕司

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター 教授

■審査委員

磯田 淳

株式会社くまもとDMC 取締役会長

太田 リカ

空間デザイナー・グラフィックデザイナー

金子 好雄

熊本県文化懇話会会員、NPO法人白川流域リバーネットワーク 代表理事

丸山 幸

株式会社 大揮環境計画事務所 代表取締役

吉武 隆一

熊本大学大学院先端科学研究部 准教授

※五十音順

6 発表・表彰

表彰式は、令和9年(2027年)3月頃を予定しています。

また、表彰式終了後、受賞者交流会の開催を予定しています。

※ 応募された方には、1月中旬までに結果を通知します。

くまもと景観賞は、グランプリである「くまもと景観賞」をはじめ、次の賞を設けています。

審査にあたっては、個々の景観だけでなく、地域景観づくりの活動も評価します。

■くまもと景観賞

県土の景観形成に顕著な功績のあるものに贈られます。

■部門賞

【地域景観賞】

地域の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（ 個々の建築物、向こう三軒両隣といった小さな単位から、
まちづくり等の大きな単位まで優れた景観形成や地域づくりに寄与しているもの ）

【緑と水の景観賞】

緑と水の景観形成に功績のあるものに贈られます。

（ 住民・企業・行政の協働による緑化活動、私有地の公共空間化により創出された、
ゆとりある景観等で、継続的な維持管理によって良好に保たれているもの ）

【広告景観賞】

広告景観の向上に功績のあるもの(広告・サイン・案内板等)に贈られます。

（ 広告単体の造形美や、統一的なデザインの看板の設置等によって、
優れた景観形成に寄与しているもの ）

■奨励賞

景観の形成や向上に貢献しているものに贈られます。

■特別賞

過去の受賞作品を含めて、長年にわたり良好な景観の維持・向上が図られ、県土の景観形成に特に顕著な功績があるものなど、審査委員の推薦で、特別賞を贈る場合があります。

第37回くまもと景観賞受賞作品



くまもと景観賞 実生在来種が残る石飛集落の和紅茶畑

石飛集落では、無農薬・無施肥で育てる持続可能性の高い自然農法で和紅茶づくりが行われている。小規模家族農家による生業としての取り組みが、従来の照葉樹林づくりや、南九州の自然景観の復元に寄与する活動となっている。



くまもと景観賞 白川の大甲橋～明午橋(通称:緑の区間)

長年にわたり地域の歴史や文化を踏まえた整備が重ねられてきたこともあり、細部に至るまで行き届いた景観は群を抜いていた。鳥類や水生生物等の環境保全にも配慮がなされ、かつ景観の維持にも多大な努力が伺えた。



部門賞 地域景観賞 立野溪谷に架かる近代化遺産(立野橋梁・第一白川橋梁)

峻険な溪谷に架かる近代化遺産の二つの橋梁は熊本地震で被災したが、立野橋梁は大切に使い続けられ、第一白川橋梁は構造や意匠を継承して蘇った。再現された鉄道景観は、地域の記憶を過去から現在、そして「希望」を未来へ繋いでいる。



部門賞 地域景観賞 熊本桜町ビル

熊本城に隣接の象徴的な場所を「城と庭つづきのおもてなしの庭」と捉え、緑豊かなひな壇状のテラスや屋上庭園で誰もが憩える空間を実現。特徴あるフォルムとボリューム感で県民のシティプライドを高め、周辺開発へ影響を与えるだろう。



部門賞 緑と水の景観賞 阿蘇高森サクラミチ

根子岳を背に広がる植木畑に植栽されたシダレザクラをはじめとする多様なサクラは、地域を象徴する新たな景観を創出している。サクラを核として、人と地域、産業をつなぐネットワークのさらなる広がりや波及効果が大きいと期待される。



奨励賞 Echoes 新町

Echoes 新町は、地域の記憶を継承する建築物となっている。また、川に開かれた豊かなパブリックスペースも高く評価されており、将来は地域のイベント等に活用し、新たなまちの活性化をもたらすことが期待される。